

■ 事業達成に向けた ロードマップ

地域住民が安心して住み続けることができる
食を通じたコミュニティがうまれている

最終アウトカム
(上位目的)

多世代が食でつながる居場所が既存の地域福祉人材、まちづくりに
関わる機関、企業、行政等重層的な支援団体・機関のかかわりにより、
持続可能な居場所となっている

中間アウトカム
(戦略目的)

直接アウトカム
(手段目的)や活動

(01) 支援地域の県域を越えて企業・行政から様々な
人・モノ・カネが集まる

- ・近隣県との連携による「ミールズ・オン・ホイールズ ロジシステム」の
推進 (ロジハブ説明会の広域開催、保管・物流協力企業の開拓)
- ・企業連携窓口を設置し、企業からの支援のコーディネートを行う人材
を配置する
- ・資金分配団体、他地域の中間支援団体との連携を図り好事例や情報
を集約・伝播する
- ・地域のニーズを把握し、関係機関に伝える

(02) 「食を通じた居場所」を通じて、地域住民の困り
事の把握と地域住民の役割と出番がひろがる

- ・アンケートやヒアリング調査を行い地域課題を把握する
- ・食を通じた見守り・個別支援のノウハウを居場所に伝える (個別支援
などスキルアップ講習会の開催)
- ・生活支援コーディネーターやCSWなど既存の地域福祉推進人材やま
ちづくり(商工会・自治会・コーディネーター等)他関係機関が食を通じ
た居場所づくりに関わるための学習会・研修会を企画開催する
- ・「食を通じた居場所」が学び・体験などの多様な体験の場を提供でき
るように支える
- ・地域住民も含む関係機関に食を通じた地域づくりに関心を広く持って
もらうために食フェスタを開催する